

# 平成 27 年度「医療放射線安全管理講習会」

## 京都会場（第 60 回）の開催

主催：医療放射線防護連絡協議会

後援：厚生労働省(予定)

この講習会は、医療領域における放射線防護を関係者に正しく理解され、放射線管理が合理的に為されることを目的に開催してします。

今回は、恒例の医療放射線安全管理行政に係る放射線立入検査と、医療放射線防護に関連する学協会が協働して、本年の 6 月に設定された「診断参考レベル (diagnostic reference level; DRL)」をテーマに取り上げます。

### ◆開催場所と日時

○京都会場（第 60 回） 平成 27 年 11 月 8 日（日）

（株）島津製作所 本社・研修センター （京都市中京区西ノ京桑原町 1）

地下鉄東西線：西大路御池駅より徒歩 3 分、阪急京都線：西院駅より徒歩 10 分

### ◆プログラム予定

**開催の挨拶**：10：15 佐々木 康人（医療放射線防護連絡協議会 会長）

**第 1 部** 10:20～12:00

教育講演 1（10:20～11:10）

演題：我が国における診断参考レベルの概要

神田 玲子（放射線医学総合研究所）

教育講演 2（11:10～12:00）

演題：医療放射線診療施設の放射線立入検査

藤田 真紀（大阪府健康医療部）

（昼食・休憩）

**第 2 部** 医療現場における診断参考レベルの普及と活用（13：00～14：40）

（講演時間：各 30 分）

1. X線CTの診断参考レベルの現場対応

菊元 力也（洛和会音羽病院）

2. IVR の診断参考レベルの現場対応

市田 隆雄（大阪市立大学）

3. 診断参考レベルを臨床現場ではどう受け止めるか

\*医師・診療上の立場から\*

中村 仁信（彩都友誼会病院）

(休憩)

第3部 話題と総合討論 (15:00~16:15)

座長 大野 和子(京都医療科学大学)

閉会の挨拶：菊地 透 (医療放射線防護連絡協議会総務理事)

- ◆受講料：6,000円 (テキスト：「講演要旨」)
- ◆申込方法：FAX または Eメールで医療放射線防護連絡協議会にお申込み下さい。
- ◆申込先： 医療放射線防護連絡協議会 事務局  
〒113-8941 東京都文京区本駒込 2-28-45 日本アイソトープ協会内  
Fax(03)5978-6434 Tel(03)5978-6433(月・火・木・金：午後のみ)  
E-mail jarpm@chive.ocn.ne.jp